

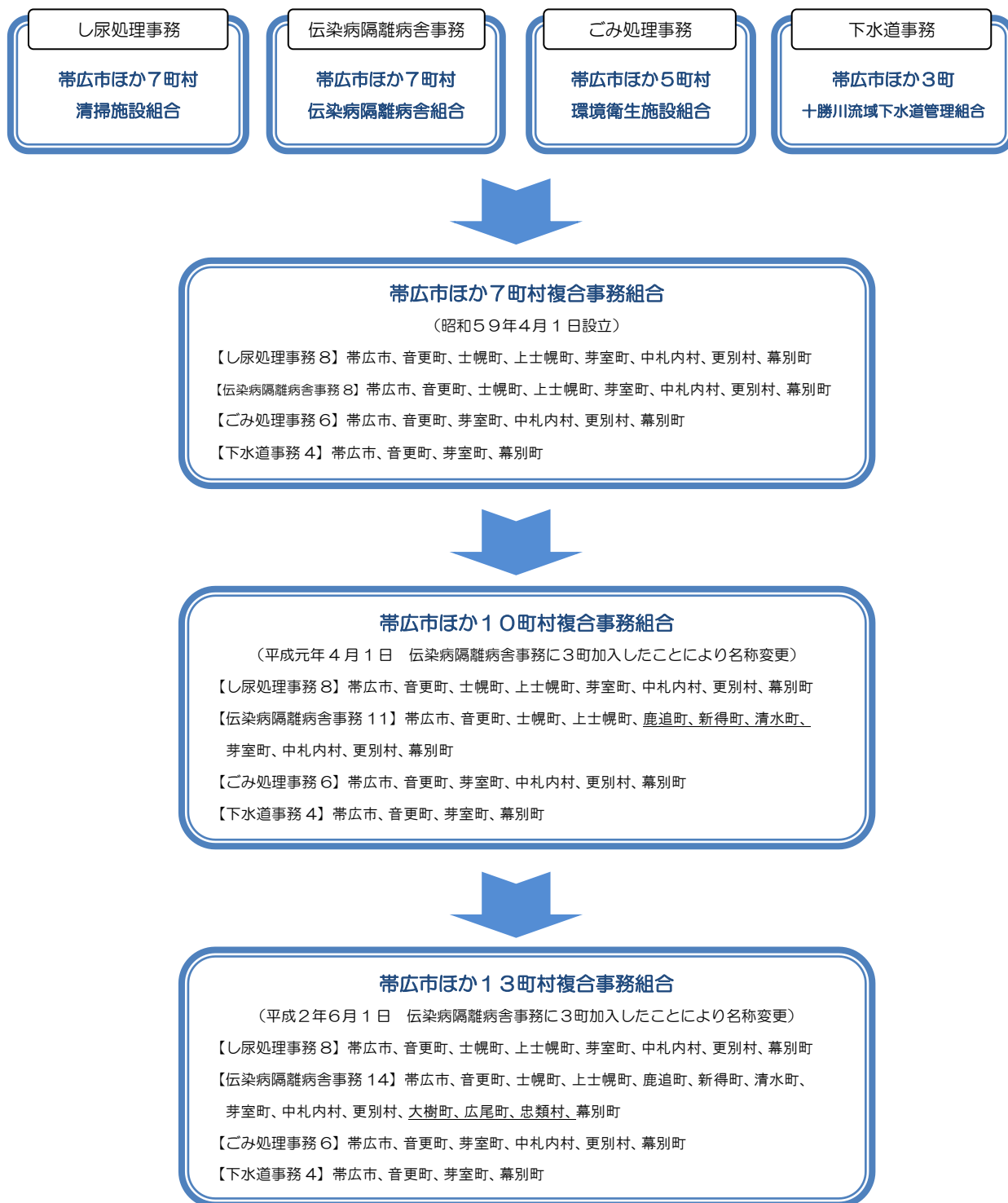
# 十勝環境複合事務組合の概要

平成28年度

十勝環境複合事務組合

## ■ 十勝環境複合事務組合の設立と経緯

十勝環境複合事務組合は、昭和59年4月1日、地域住民のサービスの向上を目指し、4つの一部事務組合を統合して帯広市ほか7町村複合事務組合を設立したことに始まり、その後、事務事業の統廃合や構成市町村数の増減の変遷を経て今日に至っている。



伝染病隔離病舎事務に池田町、浦幌町、豊頃町、本別町、足寄町、陸別町が加入し、十勝管内全市町村加入となることから、伝染病隔離病舎事務を十勝圏複合事務組合へ移管

### 十勝環境複合事務組合

(平成9年4月1日名称変更)

【し尿処理事務8】帯広市、音更町、土幌町、上土幌町、芽室町、中札内村、更別村、幕別町

【ごみ処理事務6】帯広市、音更町、芽室町、中札内村、更別村、幕別町

【下水道事務4】帯広市、音更町、芽室町、幕別町

### 十勝環境複合事務組合

(平成11年4月1日 し尿処理事務に3町加入)

【し尿処理事務11】帯広市、音更町、土幌町、上土幌町、鹿追町、新得町、清水町、芽室町、中札内村、更別村、幕別町

【ごみ処理事務6】帯広市、音更町、芽室町、中札内村、更別村、幕別町

【下水道事務4】帯広市、音更町、芽室町、幕別町

### 十勝環境複合事務組合

(平成15年4月1日 し尿処理事務に3町、ごみ処理事務に1町加入)

【し尿処理事務14】帯広市、音更町、土幌町、上土幌町、鹿追町、新得町、清水町、芽室町、中札内村、更別村、幕別町、池田町、豊頃町、浦幌町

【ごみ処理事務7】帯広市、音更町、芽室町、中札内村、更別村、幕別町、豊頃町

【下水道事務4】帯広市、音更町、芽室町、幕別町

### 十勝環境複合事務組合

(平成17年4月1日 し尿処理事務に3町、ごみ処理事務に2町加入)

【し尿処理事務17】帯広市、音更町、土幌町、上土幌町、鹿追町、新得町、清水町、芽室町、中札内村、更別村、大樹町、広尾町、忠類村、幕別町、池田町、豊頃町、浦幌町

【ごみ処理事務9】帯広市、音更町、芽室町、中札内村、更別村、幕別町、池田町、豊頃町、浦幌町

【下水道事務4】帯広市、音更町、芽室町、幕別町

平成18年2月6日 忠類村が幕別町に合併

### 十勝環境複合事務組合

(平成18年4月1日 し尿処理事務に3町加入)

【し尿処理事務19】帯広市、音更町、土幌町、上土幌町、鹿追町、新得町、清水町、芽室町、中札内村、更別村、大樹町、広尾町、幕別町、池田町、豊頃町、本別町、足寄町、陸別町、浦幌町

【ごみ処理事務9】帯広市、音更町、芽室町、中札内村、更別村、幕別町、池田町、豊頃町、浦幌町

【下水道事務4】帯広市、音更町、芽室町、幕別町

■ 共同処理事務（平成28年4月1日現在）

共同処理事務	し尿の処理	ごみの処理と処分	下水の処理
処 理 施 設	中島処理場 帯広市西23条北4丁目	・くりりんセンター （中間処理施設） 帯広市西24条北4丁目 ・うめーるセンター美加登 （一般廃棄物最終処分施設） 池田町美加登279番地	十勝川浄化センター 帯広市西18条北3丁目
構成市町村	1市16町2村	1市6町2村	1市3町
帯 広 市	○	○	○
音 更 町	○	○	○
土 幌 町	○		
上土幌町	○		
鹿 追 町	○		
新 得 町	○		
清 水 町	○		
芽 室 町	○	○	○
中札内村	○	○	
更 別 村	○	○	
大 樹 町	○		
広 尾 町	○		
幕 別 町	○	○（旧忠類村地域を除く）	○
池 田 町	○	○	
豊 頃 町	○	○	
本 別 町	○		
足 寄 町	○		
陸 別 町	○		
浦 幌 町	○	○	

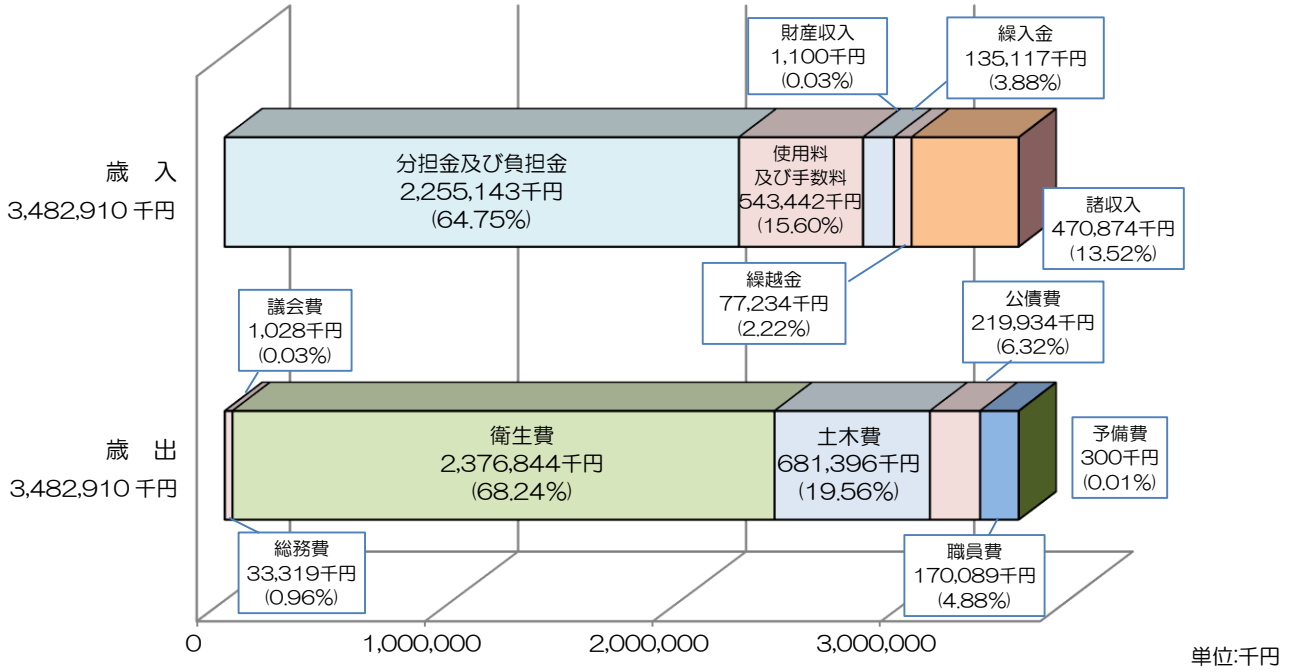
■ 組合の経費

組合の経費は、主に構成市町村の負担金でまかなっており、負担金の割合は下記による。

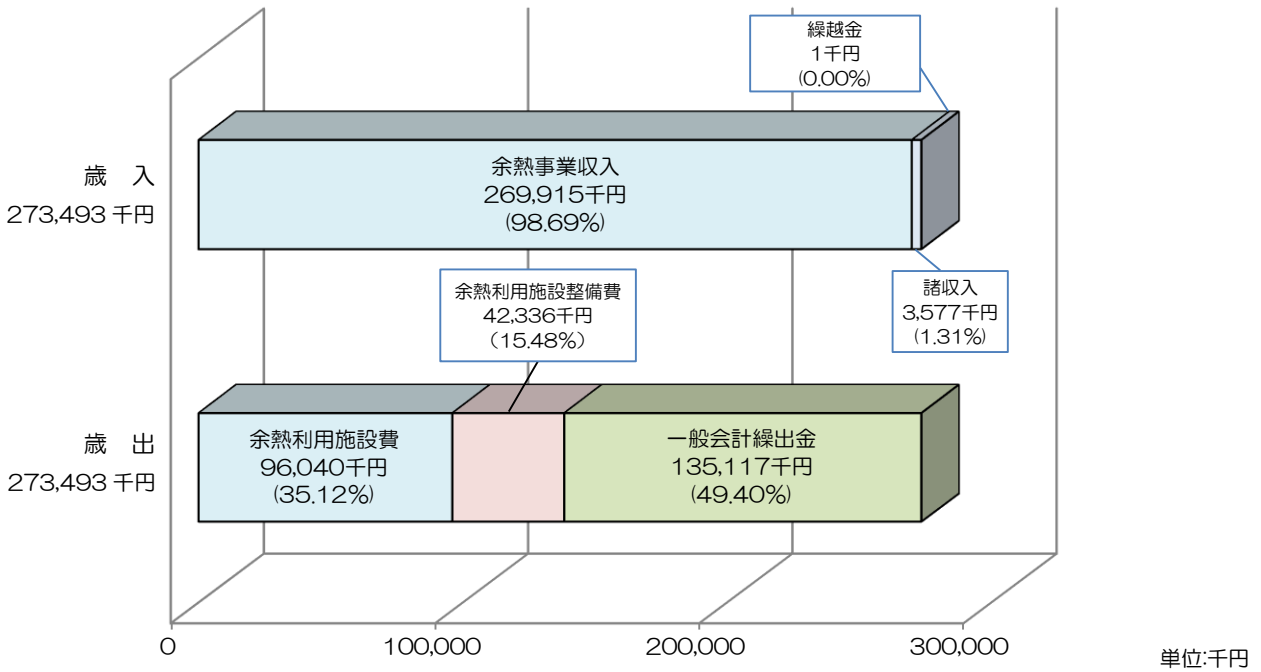
項 目	内 容	負担種別	備 考
監査委員及び公平委員会に要する経費		均等割	
議会に要する経費	特別委員会に伴う経費	均等割	関係市町村の均等負担
	特別委員会に伴う経費を控除した経費		
し尿処理施設の設置及び管理運営に要する経費	施設の新築・改築経費	基本容量割	
	施設の管理運営経費	実績使用量割	
ごみ処理施設及び最終処分場の設置及び管理運営に要する経費	施設の新築・改築経費	基本容量割	
	施設の管理運営経費	実績使用量割	
十勝川流域下水道管理運営に要する経費	総経費から施設の管理運営経費を控除した経費	基本容量割	
	施設の管理運営経費	実績使用量割	

■ 財政状況

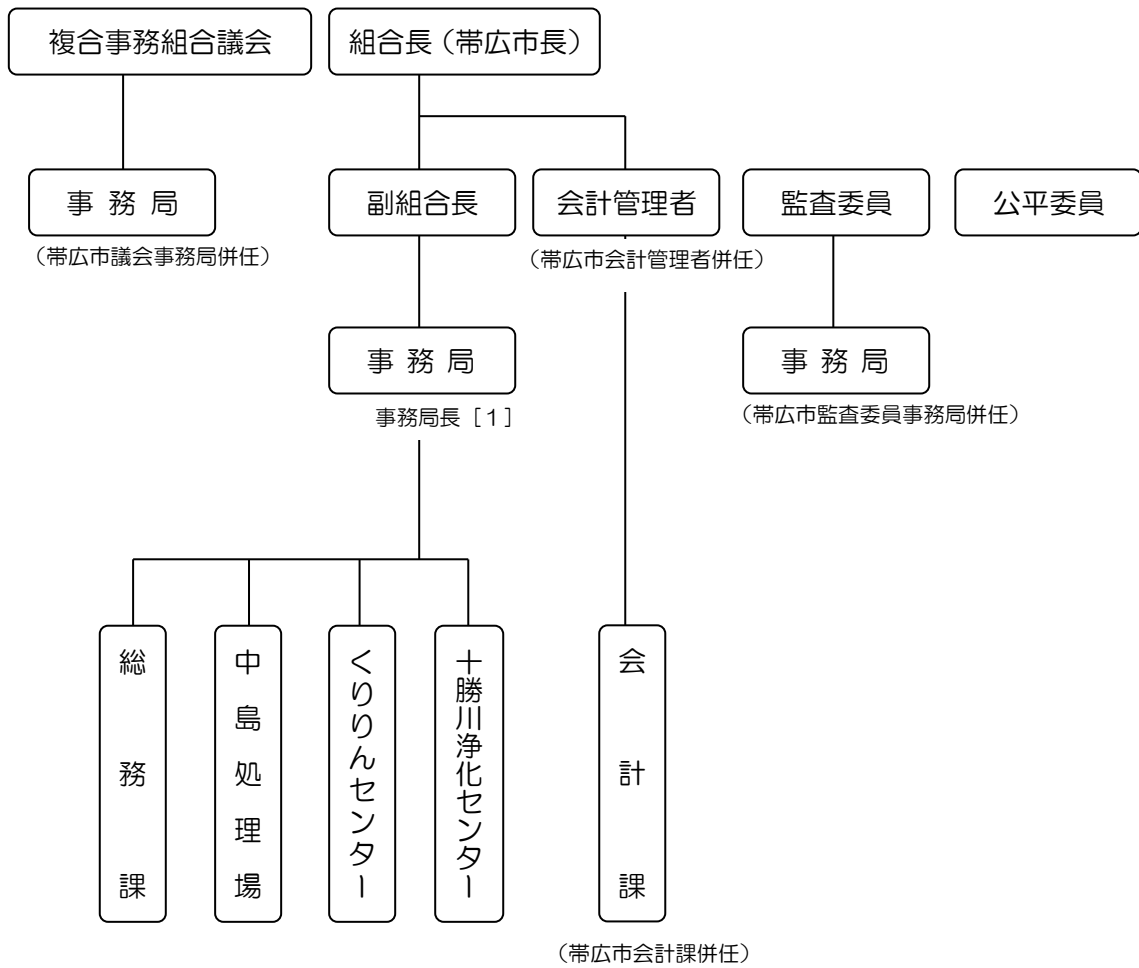
□ 平成28年度一般会計当初予算



□ 平成28年度余熱利用事業会計当初予算



■ 十勝環境複合事務組合の組織（平成28年4月1日現在）



[5]	[4]	[7]	[3]
総務係	管理係	管理係	管理係

※ [ ] 内の数字は組合職員数  
 (再任用ハーフ職員は0.5人工、0.5×2人=1人で記載)

■ 施設の概要

□ 中島処理場〈委託職員数13名〉

し尿を衛生的に処理するため、昭和42年3月に設置した。平成18年度からは、十勝管内全域のし尿・浄化槽汚泥を受け入れている。

- 建設事業
  - 第1期工事 昭和40年12月着工  
昭和42年 3月竣工（90kL/日処理）
  - 第2期工事 昭和44年 8月着工  
昭和45年10月竣工（80kL/日処理）
  - 第3期工事 昭和46年 7月着工  
昭和46年11月竣工（貯留槽）
  - 前処理及び高度処理設備整備  
昭和54年、昭和55年、昭和57年
  - 基幹的設備改良 平成8年
- 敷地面積 21,023㎡
- 処理方式 嫌気性消化標準活性汚泥法
- 処理能力 210kL/日（し尿 170kL/日 浄化槽汚泥 40kL/日）
- 受入量

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
し尿	35,651.2kL	34,346.1kL	32,652.1kL
浄化槽汚泥	18,253.8kL	17,585.4kL	17,567.2kL
合計	53,905.0kL	51,931.5kL	50,219.3kL





□ くりりんセンター〈委託職員数67名〉

昭和47年に建設した帯広清掃工場の処理能力の限界や老朽化などに伴い、平成8年10月1日より供用開始した。余熱を利用した発電施設やパークゴルフ場、体験学習室を備えた施設となっている。



- 建設事業 平成5年度～平成8年度（4カ年事業）  
（国庫補助、厚生年金・国民年金積立還元融資事業、北海道市町村振興補助事業）  
 平成5年9月着工  
 平成8年9月竣工
- 敷地面積 73,047 m<sup>2</sup>（内ごみ処理施設用地面積 47,012 m<sup>2</sup>）
- 建物概要

	建設面積	延床面積	構造
焼却棟	6,323 m <sup>2</sup>	15,257 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート造・鉄骨造
粗大ごみ棟	4,953 m <sup>2</sup>	6,383 m <sup>2</sup>	鉄骨造・一部鉄筋コンクリート造
管理棟	1,201 m <sup>2</sup>	1,774 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート造

• 施設規模

① ごみ処理施設

能力 330t/日（110t/日×3炉）

焼却条件 焼却残渣の熱灼減量5%以下、焼却温度800℃～950℃、基準8.8MJ/kg

② 粗大ごみ処理施設

能力 110t/日（破碎能力80t/5h、圧縮能力30t/5h）

破碎施設 一次破碎機（低速横型二軸回転式110kW×2）

二次破碎機（堅型高速回転式220kW×2）

③ くりりん発電所

発電規模 8,600kW（汽力発電7,000kW、ガスタービン発電1,600kW）

余熱利用 発電（所内40%・売電60%）所内冷暖房、ロードヒーティング等

④ くりりんパーク

敷地面積 26,035 m<sup>2</sup>

パークゴルフ場18ホール、ジョギングコース1周520m、北の樹木園（約160種）、夜間照明、トイレ、駐車場

⑤ くりりんプラザ（環境体験学習施設）

見学路 2,181 m<sup>2</sup>（管理棟・工場棟内）

アメニティホール、環境学習室、研修室（140名収容）

• 搬入量

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
可燃ごみ	61,876.95t	60,830.91t	60,059.60t
不燃ごみ	12,723.22t	11,328.75t	11,616.21t
合計	74,600.17t	72,159.66t	71,675.81t

□ 一般廃棄物最終処分場（うめーるセンター美加登）〈委託職員数5名〉

昭和59年から音更町の鎮練地区で埋立処分を行っていたが、平成23年3月31日で埋立を終了し、平成23年4月1日より新たに整備した池田町美加登の最終処分場を供用開始した。

- 建設事業 平成20年9月着工 平成23年3月竣工
- 埋立容量 311,200 m<sup>3</sup>（廃棄物 252,000 m<sup>3</sup>、覆土 59,200 m<sup>3</sup>）
- 埋立期間 15年間
- 埋立構造 準好気性埋立構造
- 面積 敷地面積 166,000 m<sup>2</sup>  
埋立面積 27,029 m<sup>2</sup>
- 建物概要

	床面積	構 造
埋立棟	30,063 m <sup>2</sup>	鉄骨造平屋建 （屋根：折板、 壁：角波鉄板一部プレキャスト板）
管理・水処理棟	562 m <sup>2</sup>	RC造平屋建

- 浸出水処理方式 処理量 25 m<sup>3</sup>/日  
処理方式 逆浸透膜処理方式

• 搬入量

平成25年度	平成26年度	平成27年度
12,901.98t	12,706.48t	12,344.26t



□ 旧一般廃棄物最終処分場（音更町万年 鎮練地区）〈委託職員数2名〉

昭和59年9月、汚水処理設備を備えた一般廃棄物の管理型最終処分場として供用開始した。平成23年3月末をもって埋立を終了し、平成23年度より廃止事業に着手している。

- 埋立容量 1,057,000 m<sup>3</sup>（埋立面積 223,000 m<sup>2</sup>）
- 埋立方式 準好気性埋立（セル）方式
- 汚水処理水量 平均 250 m<sup>3</sup>/日（最大 1,200 m<sup>3</sup>/日）
- 汚水処理方式 調整池＋生物処理（接触酸化法）＋凝集沈殿＋砂ろ過＋滅菌

□ 十勝リサイクルプラザ〈委託職員数36名〉

平成12年4月に容器包装リサイクル法が完全施行となったことに伴い、資源ごみの中間処理業務と公益財団法人日本容器包装リサイクル協会への分別基準適合物の引き渡し業務を行っている。

- 実施方法 平成12年、株式会社ウインクリン（第3セクター）を設立、平成15年4月から事務を委託している。
- 建設事業 平成14年5月着工 平成15年3月竣工
- 委託内容 資源化事業 容器包装リサイクル法に基づく選別・圧縮・梱包・保管業務
- 搬入量

平成25年度	平成26年度	平成27年度
13,474.90t	13,241.34t	13,292.17t

□ 十勝川流域下水道浄化センター〈委託職員数32名〉

昭和47年より帯広市の下水道事業として着手したが、昭和52年、1市3町（帯広市、音更町、芽室町、幕別町）の流域下水道事業として、北海道が事業主体となり、再スタートした。

関係する1市3町が建設分担金を北海道に支払い、施設の維持管理については、当組合が北海道から委託を受けて行っていたが、平成18年4月から指定管理者制度により1市3町で構成する十勝川流域下水道維持管理連合体が指定管理者となり、その共同処理を当組合が行っていた。

平成26年4月から指定管理者制度が廃止となり、北海道と流域関連公共下水道管理者（1市3町）との協議・協定により当組合が共同処理を行っている。

- 処理能力 104,300 m<sup>3</sup>/日
- 処理方法 汚水 標準活性汚泥法  
汚泥 濃縮嫌気性消化、ベルトプレス脱水、遠心脱水、間接乾燥
- 水質（計画） 流入水 BOD<sup>※1</sup> 200PPM<sup>※2</sup> SS<sup>※3</sup> 220PPM  
放流水 BOD 15PPM SS 40PPM
- 供用開始 昭和55年1月
- 流入量

平成25年度	平成26年度	平成27年度
25,837,193 m <sup>3</sup>	24,786,456 m <sup>3</sup>	24,432,577 m <sup>3</sup>



※1 BOD(Biochemical Oxygen Demand:生物化学的酸素要求量)

水の汚染を表す指標のひとつ。好気性微生物が一定時間中に水中の有機物(汚物)を酸化・分解する際に消費する溶存酸素の量。汚濁の度合いとして用いる。

※2 PPM(Parts Per Million)

成分比や濃度を表す単位。百万分のいくつにあたるかを示す。

※3 SS(Suspended Solid:浮遊物質)

水中に浮遊している固形物をいう。水中の汚濁の度合いを表す指標として用いる。